

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-134459

(P2000-134459A)

(43)公開日 平成12年5月12日(2000.5.12)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-コ-ト [*] (参考)
H 0 4 N 1/387		H 0 4 N 1/387	5 B 0 5 7
G 0 6 T 3/60		1/41	B 5 C 0 5 9
H 0 4 N 1/41		G 0 6 F 15/66	3 5 0 A 5 C 0 7 6
7/24		H 0 4 N 7/13	Z 5 C 0 7 8
			9 A 0 0 1
審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全 12 頁)			

(21)出願番号 特願平10-306924

(22)出願日 平成10年10月28日(1998.10.28)

(71)出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72)発明者 洪 博哲

東京都八王子市石川町2970番地 コニカ株式会社内

(74)代理人 100085187

弁理士 井島 藤治 (外1名)

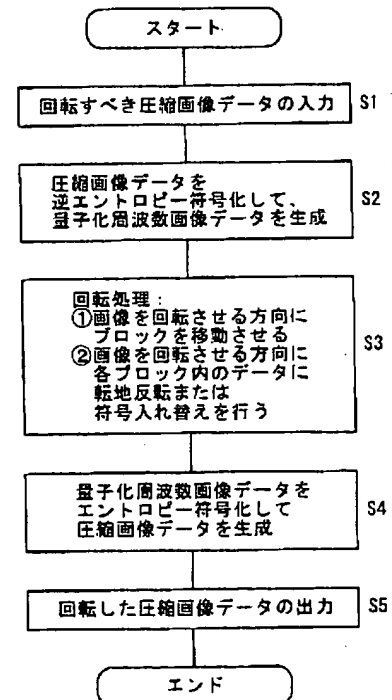
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像処理方法

(57)【要約】

【課題】 圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能であり、画質劣化を生じない画像処理方法を実現する。

【解決手段】 周波数変換を用いて圧縮された画像の処理方法であって、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、量子化周波数画像データの状態で(S2)、周波数領域において画像を回転させる(S3)、ことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 周波数変換を用いて圧縮された画像の処理方法であって、

周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させる、ことを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】 周波数変換を用いて圧縮された画像が量子化された状態において、画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項3】 周波数変換を用いて圧縮された画像は離散コサイン変換を用いたものである、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項4】 周波数変換を用いて圧縮された画像について、周波数領域のジグザグテーブルを変更することにより画像を回転させる、ことを特徴とする請求項3記載の画像処理方法。

【請求項5】 周波数変換を用いて圧縮された画像について、データの交流成分の符号を反転させることにより画像を回転させる、ことを特徴とする請求項3記載の画像処理方法。

【請求項6】 周波数変換を用いて圧縮された画像はウェーブレット変換を用いたものである、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項7】 デジタルカメラで撮影された画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項8】 複数の圧縮画像を一覧表示するステップと、一覧表示の中から回転対象画像を選択するステップと、選択された画像の元画像に対して回転処理を実行するステップと、を備えたことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項9】 前記一覧表示する画像は、圧縮画像に付属した縮小画像である、ことを特徴とする請求項8記載の画像処理方法。

【請求項10】 前記一覧表示する画像は、周波数領域の低周波成分により作成された縮小画像である、ことを特徴とする請求項8記載の画像処理方法。

【請求項11】 画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報に基づいて、画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項12】 画像を回転させる際に、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報を修正する、ことを特徴とする請求項11記載の画像処理方法。

【請求項13】 記憶容量の小さい画像記憶メディアから、前記画像記憶メディアよりも容量の大きい画像記憶メディアに画像データを転送する際に、前記画像の回転

を行う、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【請求項14】 前記画像の回転の後、画質に関するパラメータを変化させずに再圧縮する、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は画像処理方法に関し、特に、圧縮後に対して適した回転処理を行える画像処理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】デジタル画像データを圧縮する技術として、J P E G (Joint Photographic Experts Group) などが知られている。

【0003】このようなデジタル画像データの圧縮処理を実行するには、

- ・デジタル画像データを複数のブロックに分割し、
- ・そのブロックをD C T (Discrete Cosine Transform: 離散コサイン変換) などにより周波数領域の周波数画像データに変換し、
- ・量子化テーブルを参照することにより周波数画像データを量子化周波数画像データに変換し、
- ・量子化周波数画像データを符号化することにより圧縮画像データを生成、のように行っていた。

【0004】また、圧縮画像データを復元するには、上記と逆の手順を経ることにより、元の画像データを取り出せる。なお、上述したJ P E G圧縮を用いる画像フォーマットとしては、J P E G (J F I F)、E x i f、C I F F、F l a s h P i xなどがあり、自然画像の圧縮手法として広く使用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、E x i fを始めとするデジタルカメラや多くのスキャナで作成された画像フォーマットでは、ユーザの設定した縦・横の方向にかかわらず、一定のアスペクト比の画像データとして記録している。

【0006】このため、ユーザが縦位置で撮影した画像データなどは、J P E Gに対応するソフトウェアを用いてユーザが画像ファイルを開いたときには、必ずしも意図した方向で表示されるとは限らない。

【0007】このため、画像ファイルを開いた時点でユーザが画像データを90度回転させる必要が生じる。しかし、インターネットなどで用いるブラウジングソフトウェア（以下、ブラウザと言う）では画像の回転が行えないため、縦位置であるべき画像を横位置で観察しなければならず非常に不便であった。

【0008】なお、上述したE x i fには、画像の向きを指定するタグ情報が存在しているが、このタグ情報を利用して画像の向きを変えるようになっているソフトウェアは少ない。

【0009】また、実際の画像データは圧縮されている場合が多く、このような画像を正常な向きになおした後に再圧縮して保存するには、圧縮画像の解凍による実画像化、実画像の回転、回転された実画像の圧縮、といった一連の処理が必要になる。

【0010】なお、画像の回転については、米国特許第5,111,192号公報などに記載されているように、実画像に対して行う方法が示されている。たとえば、JPEG形式の圧縮画像データの回転を行う様子を図11に示す。ここでは、圧縮画像データを逆エントロピー符号化部10により量子化周波数画像データに変換し、逆量子化部20で周波数画像データに変換し、さらに逆周波数変換部30で画像データに変換する。ここまでの処理は圧縮画像データの通常の解凍と同じである。

【0011】そして、この状態で画像データを、制御部1の指示のもとで回転処理部40で回転させる。この回転された画像データを周波数変換部50で周波数画像データに変換し、量子化部60で量子化周波数画像データに変換し、さらにエントロピー符号化部70によりエントロピー符号化して圧縮画像データを得る。なお、周波数変換部50～エントロピー符号化部70の処理は通常の圧縮データの生成と同じである。

【0012】以上のような処理のため、解凍・圧縮に計算時間がかかる問題がある。また、再圧縮時に量子化部60で再量子化を行うため、はじめに圧縮画像データを作成した時と量子化係数が異なる場合には画像が劣化する問題があった。

【0013】従って、本発明の目的は、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能であり、画質劣化を生じない画像処理方法を実現することである。

【0014】

【課題を解決するための手段】すなわち、上記課題を解決する本願発明は以下に述べるようなものである。

(1) 請求項1記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像の処理方法であって、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させる、ことを特徴とする画像処理方法である。

【0015】この発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。

【0016】(2) 請求項2記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像が量子化された状態において、画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0017】この発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像が量子化された状態において、周波数領域にお

いて画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能であり、画質劣化を生じなくなる。

【0018】(3) 請求項3記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像は離散コサイン変換を用いたものである、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0019】この発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。

【0020】(4) 請求項4記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像について、周波数領域のジグザグテーブルを変更することにより画像を回転させる、ことを特徴とする請求項3記載の画像処理方法である。

【0021】この発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域のジグザグテーブルを変更することにより、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、画像に対して一つだけ存在するジグザグテーブルを変更するだけなので、高速化できる。

【0022】(5) 請求項5記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像について、データの交流成分の符号を反転させることにより画像を回転させる、ことを特徴とする請求項3記載の画像処理方法である。

【0023】この発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、データの交流成分の符号を反転させることにより、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。

【0024】(6) 請求項6記載の発明は、周波数変換を用いて圧縮された画像はウェーブレット変換を用いたものである、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0025】この発明では、ウェーブレット変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ウェーブレット変換では複素数成分が

存在しないため、簡単に回転させることができる。

【0026】(7) 請求項7記載の発明は、デジタルカメラで撮影された画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。この発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、デジタルカメラにおいて撮影の状態に合わせた所望の画像表示を高速に行うことができるようになる。

【0027】(8) 請求項8記載の発明は、複数の圧縮画像を一覧表示するステップと、一覧表示の中から回転対象画像を選択するステップと、選択された画像の元画像に対して回転処理を実行するステップと、を備えたことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0028】この発明では、圧縮画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0029】(9) 請求項9記載の発明は、前記一覧表示する画像は、圧縮画像に付属した縮小画像である、ことを特徴とする請求項8記載の画像処理方法である。この発明では、圧縮画像に付属した縮小画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0030】(10) 請求項10記載の発明は、前記一覧表示する画像は、周波数領域の低周波成分により作成された縮小画像である、ことを特徴とする請求項8記載の画像処理方法である。

【0031】この発明では、圧縮画像の低周波成分から作成した縮小画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0032】(11) 請求項11記載の発明は、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報に基づいて、画像を回転させる、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0033】この発明では、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報に基づいて、画像を回転させるようにしているため、大量の画像ファイルを自動的に処理することが可能になる。

【0034】(12) 請求項12記載の発明は、画像を回転させる際に、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報を修正する、ことを特徴とする請求項11記載の画像処理方法である。

【0035】この発明では、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記

録媒体上に記録された画像方向の情報を修正するようにしているために、画像の方向を回転する際の間違いを避けることが可能になる。

【0036】(13) 請求項13記載の発明は、記憶容量の小さい画像記憶メディアから、前記画像記憶メディアよりも容量の大きい画像記憶メディアに画像データを転送する際に、前記画像の回転を行う、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0037】この発明では、記憶容量の大きい画像記憶メディアに画像データを転送する際に画像の回転を行うようにしているため、正常な向きの画像データのデータベースを作成することが可能になる。

【0038】(14) 請求項14記載の発明は、前記画像の回転の後、画質に関するパラメータを変化させずに再圧縮する、ことを特徴とする請求項1記載の画像処理方法である。

【0039】この発明では、画像の回転の後、画質に関するパラメータを変化させずに再圧縮するようにしているため、再圧縮された画像の画質が保たれ、元の画像と同画質で正しい向きの画像を高速に得ることが可能になる。

【0040】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態例を詳細に説明する。

<第1の実施の形態例>まず、図1を参照して本発明の画像処理方法の実施の形態例で使用する画像処理装置100の全体構成について説明する。なお、この図1は本発明の実施の形態の画像処理装置100の全体の電気的な概略構成を示す機能ブロック図である。

【0041】この図1において、101は装置全体を制御する制御部、102は逆エントロピー符号化処理を行って圧縮画像データ(JPEG画像データ)から量子化周波数画像データを生成する逆エントロピー符号化部、103は量子化周波数画像データに対して周波数領域でのデータの回転処理を行う回転処理部、104はエントロピー符号化処理を行って量子化周波数画像データから圧縮画像データ(JPEG画像データ)を生成するエントロピー符号化部である。

【0042】ここで、図1のブロック図、図2のフローチャート、図3および図4の説明図を参照して、本発明の実施の形態例の動作説明を行う。まず、図1の画像処理装置100に対して外部から圧縮画像データが供給される(図2S1)。

【0043】なお、この実施の形態例においては、ブロック毎にDCT変換を用いて圧縮された圧縮画像データ(JPEG圧縮画像データ等)であるものとする。この圧縮画像データはエントロピー符号(ハフマン符号)化されているので、これを逆エントロピー符号化部102で逆エントロピー符号化する。これにより、所定の量子化テーブルにより量子化された周波数領域での画像デー

タ（これを量子化周波数画像データと言う）が抽出される（図2S2）。

【0044】つぎに、量子化周波数画像データの回転処理を実行する（図2S3）。ここでは、元の画像データから圧縮画像データを作成する際にブロック化していることに着目する。

【0045】ここで、回転前の量子化周波数画像データのブロックが図3（a）のような6ブロックで構成されているものを想定する。なお、各ブロックは、たとえば、8×8画素のピクセルデータで構成されている。

【0046】まず、量子化周波数画像データを構成する各ブロック毎に、画像を回転させる方向に動かして並べ替える（図2S3①）。この場合、図3（a）のような状態であったブロックについて、右方向に90度の回転であれば図3（b）のように並べ替え、右方向に180度の回転であれば、図3（c）のように並べ替え、右方向に270度の回転であれば、図3（d）のように並べ替えるようにする。

【0047】また、図4（a）のような状態であったブロックについて、左右反転（左右の鏡像作成）であれば、図4（b）のように並べ替え、上下反転（上下の鏡像作成）であれば、図4（c）のように並べ替えるようにする。

【0048】なお、JPEGのようなブロック化がなされていない圧縮データを扱う場合には、この操作は不要である。つぎに、必要に応じて、量子化周波数画像データを構成する各ブロックの内部のデータについて、画像を回転させる方向に動かして並べ替えるような転地反転処理を行う（図2S3②）。

【0049】ここでブロック内の処理方法として、ブロック内の画像データを転地行列する処理（ここでは、転地行列に相当する画像の反転（左上、右下の軸を中心にした反転）を転地反転と呼ぶことにする）、および、符号を入れ替える処理の組み合わせにより実現できる。

【0050】転地反転を作る処理としては、実際にパラメータを移動してもかまわないが、JPEG圧縮の場合には、画像データの各ブロック内のデータはジグザグテーブルに従って並べられていることに着目し、そのジグザグテーブルを変更することにより計算処理を単純化することができる。なお、JPEG画像については、画像1つにつきジグザグテーブルは1であるため、この処理は高速に実行できる。

【0051】このようなジグザグテーブルの変更を行うことにより、結果として、ブロックデータをスキャンする方向は図5または図6のように行うことになる。鏡像にする処理としては、DCTの場合、DCの周波数成分についてはそのままとして、ACの周波数成分の符号を変えることにより、左右、または、上下の鏡像変換ができる。このような処理は、実空間で実データを入れ替える処理に比較すると、極めて高速に行うことが可能であ

る。なお、この転地反転処理の具体例については、別途詳細に説明する。

【0052】以上のように量子化周波数画像データの状態で回転処理を行った後に再びエントロピー符号化を行って圧縮画像データを生成し（図2S3）、回転した状態の圧縮画像データを出力する（図2S5）。

【0053】以上のように、この発明では周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。

【0054】また、この発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像が量子化された状態において、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能であり、画質劣化を生じなくなる。

【0055】また、この発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。

【0056】また、この発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域のジグザグテーブルを変更することにより、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、画像に対して一つだけ存在するジグザグテーブルを変更するだけなので、高速化できる。

【0057】また、この発明では、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。ここで、回転処理について具体例を用いて説明を行う。

【0058】（1）左右鏡像：左右鏡像の場合には、図4（b）に示したように、量子化周波数画像データにおいてブロック並べ替えを行う。そして、量子化周波数画像データの各ブロックについて、AC成分の符号を反転させる処理を行う。ブロックの元の状態が図7に示すものであるとすると、これを図8に示すようにAC成分の符号を反転させることでブロック内の左右の反転が実現される。

【0059】（2）右方向に90度の回転：右方向90度回転の場合には、図3（b）に示したように、右90度方向に量子化周波数画像データにおいてブロック並べ替えを行う。そして、量子化周波数画像データの各ブロックについて、図5または図6に示したようにジグザグ

テーブルの変更を行う。そして、8に示すようにジグザグテーブルの変更を行う。

【0060】(3) 右方向に180度の回転：右方向180度回転の場合には、図3(c)に示したように、右180度方向に量子化周波数画像データにおいてブロック並べ替えを行う。そして、量子化周波数画像データの各ブロックについて、図8に示すようなジグザグテーブルの左右反転の変更と、図9に示すようなジグザグテーブルの上下反転の変更とを行って、結果として図10に示すような上下左右を入れ替えるためのAC成分の符号の反転を行う。すなわち、この図10に示すようにAC成分の符号を反転させることでブロック内の上下左右の反転が実現される。

【0061】(4) 右方向に270度の回転：右方向270度回転の場合には、図3(d)に示したように、右270度方向に量子化周波数画像データにおいてブロック並べ替えを行う。そして、量子化周波数画像データの各ブロックについて、図9に示すようなジグザグテーブルの上下反転の変更を行って、AC成分の符号の反転を行う。

【0062】以上(1)～(3)のようにすることで、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。

<第2の実施の形態例>たとえば、JPEGの拡張フォーマットであるExifバージョン2.0においては、画像の向きの情報が記録されている。これを用いて、画像の向きが通常とは異なる場合には、上述した画像の回転を行うとともに、画像向きの情報も訂正しておく。このような操作は、あるディスクボリューム内の画像データの全てを検索し、この処理を自動的に行うようにする。なお、この処理をバックグラウンドで自動的に処理することで、効率的な処理が行える。このような処理を行っておくことで、単純にJPEGのみを読むソフトウェアで、正常な向きの画像を得ることができるようになる。

【0063】<第3の実施の形態例>画像の向きの情報が存在しない場合には、フォルダ単位で画像の一覧を表示し、オペレータに画像回転処理を行うべきフィルムコマを指定させるようにする。このときの画像は元画像に付属したサムネールと呼ばれる縮小画像のデータを用いるようにして、オペレータに判断させるようにする。回転処理が指定された画像については、元画像データについて回転処理を実行する。このようにすることで、表示動作が迅速になり、効率的である。

【0064】<第4の実施の形態例>また、ウェーブレット変換による周波数変換を用いて圧縮された画像についても、実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにする。そして、ウェーブレット変換を用いる場合には、圧縮画像の低周波成分から作成した縮小画像を用いることで、表示動作を高速

化することができる。

【0065】<第5の実施の形態例>デジタルカメラなどで撮像され、メモリカードに取り込まれた画像データを保存し、保存された画像データを大容量の記録メディアに複写または移動する際に、上述した回転処理を行うことにより、正常な向きの画像データによる画像データベースを作成することが可能になる。

【0066】<第6の実施の形態例>元画像の向きを変えて解凍表示する場合、以上の処理を応用することができる。すなわち、左右反転はAC成分の符号を反転させるほうが早く、また、転地反転させる場合にはジグザグテーブルを反転させることで実現できる。また、この操作を部分的に行い、実画像での処理と組み合わせてもよい。

【0067】<その他の実施の形態例>なお、以上の各実施の形態例においてはAC成分について説明を行ってきた。DC成分については、逆符号化して、DC成分を図3や図4のようにブロック単位で動かして再び符号化すればよい。

【0068】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では以下のような効果が得られる。

(1) 請求項1記載の発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。

【0069】(2) 請求項2記載の発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像が量子化された状態において、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能であり、画質劣化を生じなくなる。

【0070】(3) 請求項3記載の発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。

【0071】(4) 請求項4記載の発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域のジグザグテーブルを変更することにより、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、画像に対して一つだけ存在するジグザグテーブルを変更するだけなので、高速化できる。

【0072】(5) 請求項5記載の発明では、離散コサイン変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、データの交流成分の符号を反転させることにより、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ブロック成分のAC部分の符号を反転させることにより実画像の左右部分を反転できるため、計算量が減り高速化できる。

【0073】(6) 請求項6記載の発明では、ウェーブレット変換による周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、圧縮画像の向きを回転により変更する際に、計算量を低減し高速に変換することが可能になる。すなわち、ウェーブレット変換では複素数成分が存在しないため、簡単に回転させることができる。

【0074】(7) 請求項7記載の発明では、周波数変換を用いて圧縮された画像を実空間の画像に変換することなく、周波数領域において画像を回転させるようにしているため、デジタルカメラにおいて撮影の状態に合わせた所望の画像表示を高速に行うことができるようになる。

【0075】(8) 請求項8記載の発明では、圧縮画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0076】(9) 請求項9記載の発明では、圧縮画像に付属した縮小画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0077】(10) 請求項10記載の発明では、圧縮画像の低周波成分から作成した縮小画像の一覧表示から回転すべき画像を選択するようにしているので、画像が多数存在している場合にも効率的に処理を進めることができるようになる。

【0078】(11) 請求項11記載の発明では、画像ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報に基づいて、画像を回転させるようにしているため、大量の画像ファイルを自動的に処理することが可能になる。

【0079】(12) 請求項12記載の発明では、画像

ファイルに記録された画像方向の情報、または、画像ファイルが記録された記録媒体上に記録された画像方向の情報を修正するようにしているために、画像の方向を回転する際の間違いを避けることが可能になる。

【0080】(13) 請求項13記載の発明では、記憶容量の大きい画像記憶メディアに画像データを転送する際に画像の回転を行うようにしているため、正常な向きの画像データのデータベースを作成することが可能になる。

【0081】(14) 請求項14記載の発明では、画像の回転の後、画質に関するパラメータを変化させずに再圧縮するようにしているため、再圧縮された画像の画質が保たれ、元の画像と同画質で正しい向きの画像を高速に得ることが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の画像処理方法の実施の形態例で使用する画像処理装置の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態例の処理手順を示すフローチャートである。

【図3】本発明の実施の形態例におけるブロック並べ替えの処理状態を示す説明図である。

【図4】本発明の実施の形態例におけるブロック並べ替えの処理状態を示す説明図である。

【図5】本発明の実施の形態例のジグザグテーブルの様子を示す説明図である。

【図6】本発明の実施の形態例のジグザグテーブルの様子を示す説明図である。

【図7】本発明の実施の形態例のブロック内の処理の様子を示す説明図である。

【図8】本発明の実施の形態例のブロック内の処理の様子を示す説明図である。

【図9】本発明の実施の形態例のブロック内の処理の様子を示す説明図である。

【図10】本発明の実施の形態例のブロック内の処理の様子を示す説明図である。

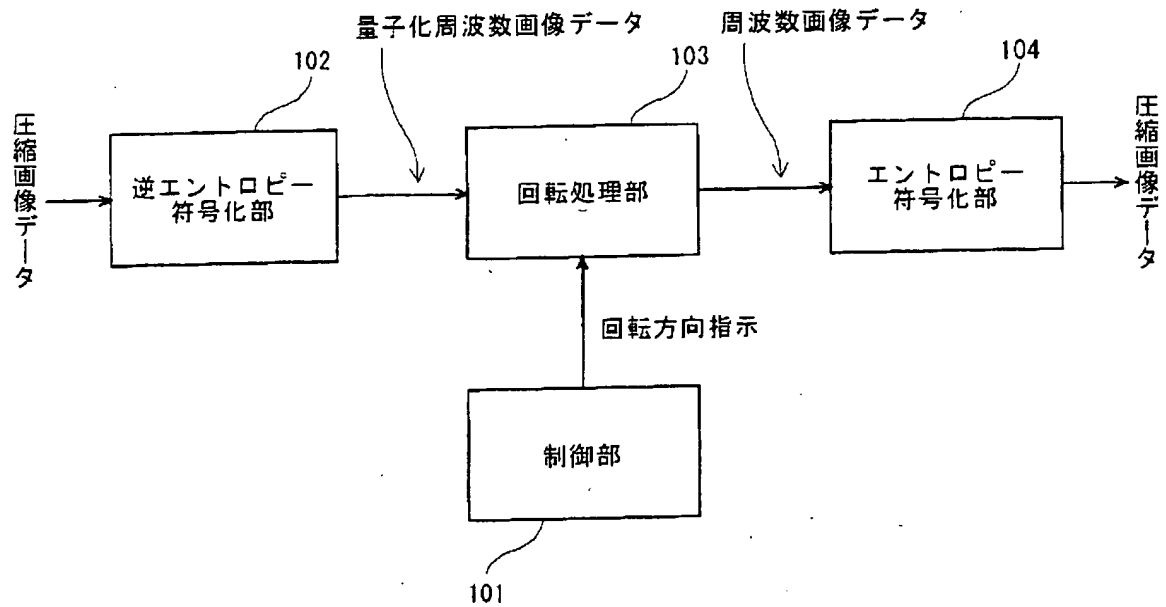
【図11】従来の画像回転を行う画像処理装置の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

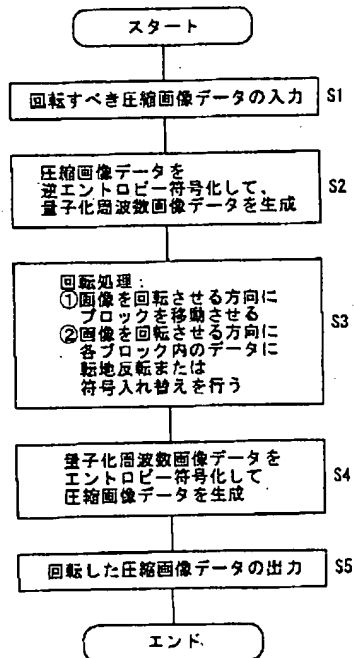
- 101 制御部
- 102 逆エントロピー符号化部
- 103 回転処理部
- 104 エントロピー符号化部

【図1】

100 画像処理装置



【図2】



【図3】

1	2	3
4	5	6

(a) 元画像のブロック (a) 元画像のブロック

4	1
5	2
6	3

(b) 右へ90度

6	5	4
3	2	1

(c) 右へ180度

3	6
2	5
1	4

(d) 右へ270度

【図4】

1	2	3
4	5	6

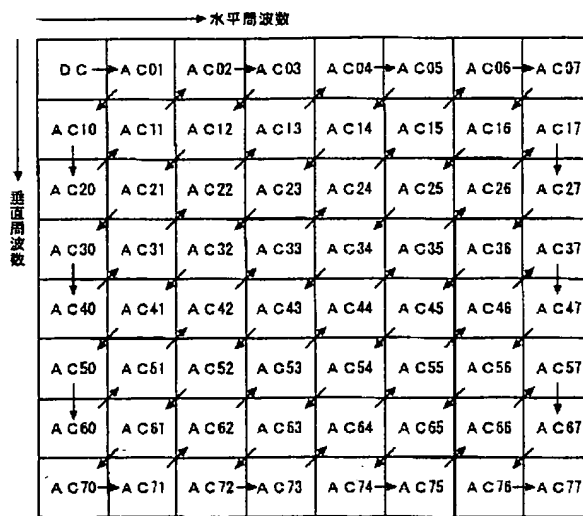
3	2	1
6	5	4

(b) 左右反転 (鏡像)

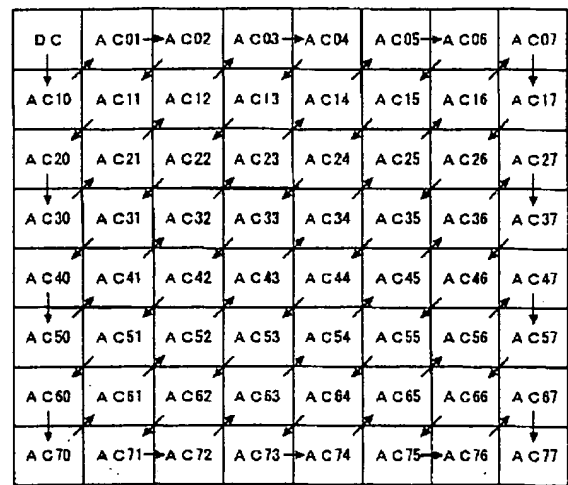
4	5	6
1	2	3

(c) 上下反転 (鏡像)

【図5】



【図6】



【図7】

DC	AC01	AC02	AC03	AC04	AC05	AC06	AC07
AC10	AC11	AC12	AC13	AC14	AC15	AC16	AC17
AC20	AC21	AC22	AC23	AC24	AC25	AC26	AC27
AC30	AC31	AC32	AC33	AC34	AC35	AC36	AC37
AC40	AC41	AC42	AC43	AC44	AC45	AC46	AC47
AC50	AC51	AC52	AC53	AC54	AC55	AC56	AC57
AC60	AC61	AC62	AC63	AC64	AC65	AC66	AC67
AC70	AC71	AC72	AC73	AC74	AC75	AC76	AC77

元の画像周波数成分

【図8】

DC	-AC01	-AC02	-AC03	-AC04	-AC05	-AC06	-AC07
AC10	-AC11	-AC12	-AC13	-AC14	-AC15	-AC16	-AC17
AC20	-AC21	-AC22	-AC23	-AC24	-AC25	-AC26	-AC27
AC30	-AC31	-AC32	-AC33	-AC34	-AC35	-AC36	-AC37
AC40	-AC41	-AC42	-AC43	-AC44	-AC45	-AC46	-AC47
AC50	-AC51	-AC52	-AC53	-AC54	-AC55	-AC56	-AC57
AC60	-AC61	-AC62	-AC63	-AC64	-AC65	-AC66	-AC67
AC70	-AC71	-AC72	-AC73	-AC74	-AC75	-AC76	-AC77

左右を裏返した画像周波数成分

【図9】

DC	AC01	AC02	AC03	AC04	AC05	AC06	AC07
-AC10	-AC11	-AC12	-AC13	-AC14	-AC15	-AC16	-AC17
-AC20	-AC21	-AC22	-AC23	-AC24	-AC25	-AC26	-AC27
-AC30	-AC31	-AC32	-AC33	-AC34	-AC35	-AC36	-AC37
-AC40	-AC41	-AC42	-AC43	-AC44	-AC45	-AC46	-AC47
-AC50	-AC51	-AC52	-AC53	-AC54	-AC55	-AC56	-AC57
-AC60	-AC61	-AC62	-AC63	-AC64	-AC65	-AC66	-AC67
-AC70	-AC71	-AC72	-AC73	-AC74	-AC75	-AC76	-AC77

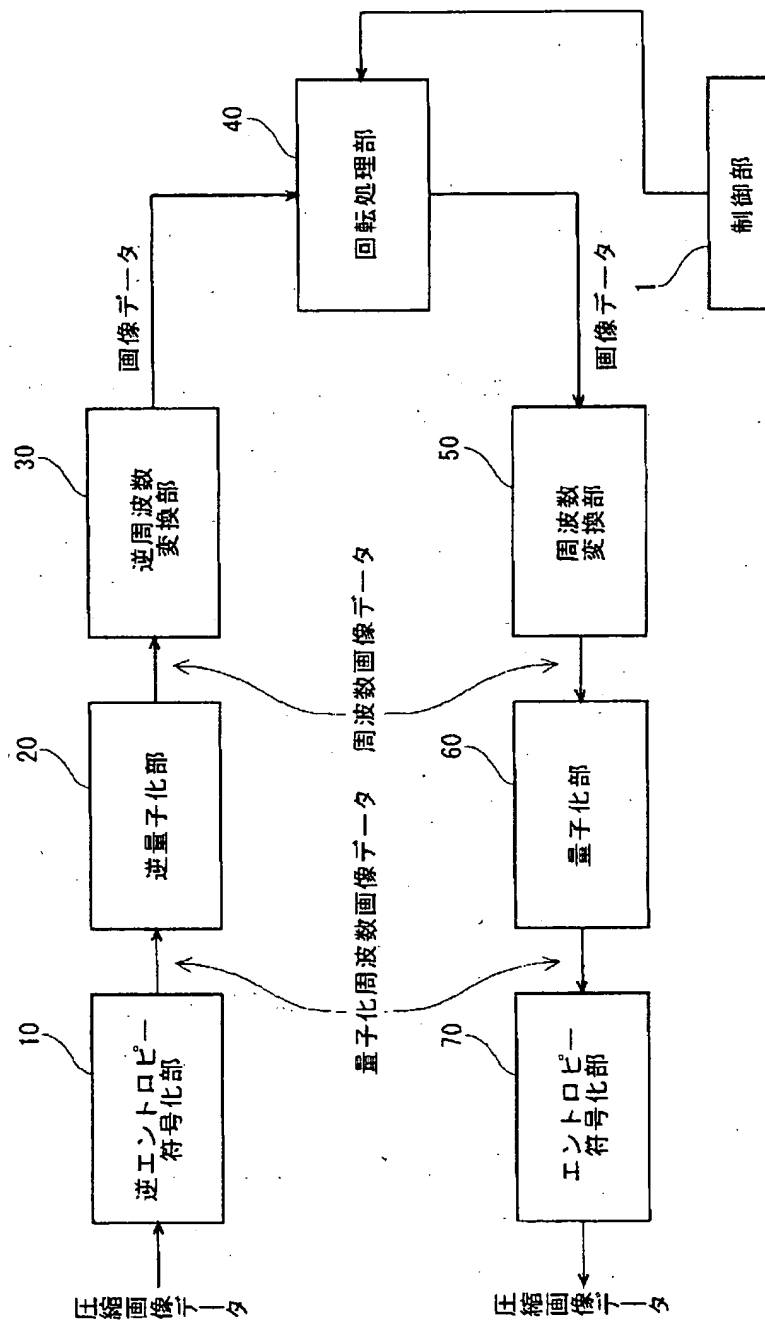
上下を裏返した画像周波数成分

【図10】

DC	-AC01	-AC02	-AC03	-AC04	-AC05	-AC06	-AC07
-AC10	AC11	AC12	AC13	AC14	AC15	AC16	AC17
-AC20	AC21	AC22	AC23	AC24	AC25	AC26	AC27
-AC30	AC31	AC32	AC33	AC34	AC35	AC36	AC37
-AC40	AC41	AC42	AC43	AC44	AC45	AC46	AC47
-AC50	AC51	AC52	AC53	AC54	AC55	AC56	AC57
-AC60	AC61	AC62	AC63	AC64	AC65	AC66	AC67
-AC70	AC71	AC72	AC73	AC74	AC75	AC76	AC77

上下左右を裏返した画像周波数成分
(180度回転させた画像に相当)

【図11】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B057 CD04 CD05 CG05 CH07 CH14
5C059 KK00 LA00 MA00 MA23 MA24
MC02 MC14 SS12 SS14
5C076 AA22 AA24 BA07 BA09 BB40
5C078 BA44 BA57 DB18
9A001 BB02 BB03 BB04 DD15 EE02
EE05 FF01 GZ04 HH24 HH27
KK42 KZ16 KZ54 KZ62